

改訂

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	257	科目名	生物総合評価管理学事例研究4			サブネーム	バイオサイエンストーク	
連携機関	化学生物総合評価管理学会	レベル	基礎	講義日時	土曜日 10:00～11:30、11:50～13:20	講義場所	お茶の水女子大学	
科目概要	対話のプロセスを通じ、科学的な枠組みの中での議論の仕方を涵養する。著名な講師陣に接して、個性豊かな講義を聴き、対話できるまたとない機会である。知的刺激を受けること必定。							

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
微生物から覗く社会	1	どのようなテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	微生物とその宿主としての人、或いは、社会との関係を考察する。内容としては、地球上の生物、その中での微生物の役割、微生物生態、生物の形、多様性と進化、遺伝子の水平伝達、ゲノム情報、生物の基本的なプロセス、ウイルス、生物の相互作用、感染症、感染症の広がり方、生体防御の仕組み、リスクと云うものの考え方、組み換え食品、バイオテクノロジーの進展、環境問題、社会の科学への不信、科学と法や規制との関係等、結果として幅広いテーマを扱って来ている。講師による解説と受講者からの質疑応答をほぼ半々の時間配分とし、受講者の質問を中心とした講義を行う。受講者には、この講義の為に作成した講義原稿と質疑応答集が電子媒体で配布される。なお、ウイルス学会ホームページにある東京大学医学部微生物学講義録 (http://virus.bcasj.or.jp/microbiology_top.htm)を参考文献として使用する。講義を通して、聴講者が、講師と一緒に、生物、自然、人、社会に関わる疑問を見つけて行くことが目的である。	9月27日	共通講義棟 1号館102号室	吉倉 廣	国立感染症研究所 名誉所員
	2			10月4日	共通講義棟 3号館202号室		
	3						
	4			10月11日			
	5						
	6						
生物資源の充実及び 権利化	7	どのようなテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	政府は、医療、食料、環境・エネルギー分野の発展を指向すべく平成14年に「バイオテクノロジー戦略大綱（BT戦略）」を策定した。このBT戦略において「生物遺伝資源の拡充強化」が高らかに謳われている。このことに向けた我が国の取り組みの現状及びそれら資源の権利化に係わる問題点等を概説するとともに、同権利化に関する国内・国際的取り決め及びそれらの歴史的経緯等について解説する。	10月18日 休講	共通講義棟 1号館102号室	小松 泰彦	製品評価技術基盤機構 顧問 国立感染症研究所 客員研究員 理化学研究所 客員研究員
	8			11月1日 休講	共通講義棟 3号館207号室		
	9						
	10						
	11						
病原体のヒトの身体の 壊し方	12	どのようなテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	ウイルスは、人の身体にどこからどのように侵入し細胞に入り次々と組織を破壊して 症状を出し 結果として人を死にいたらしめるか あるいは終生にわたり 人の身体の中で住み着いて折々に起きだして おもわぬときに病気を起こすか について 身近なウイルスについて 知ってもらうことが目的である。	11月29日	人間文化創成 科学研究科全 学共用研究棟 405号室	倉田 毅	富山県衛生研究所 所長
	13			12月6日	共通講義棟 1号館102号室		
	14						
	15						

2008/7/29 教室の記載、倉田先生の日程変更。2008/10/30教室の記載間違い修正。